

資料2 令和6年度 学校教育活動に関するアンケート結果分析（職員）

Classiによる回答（令和7年1月実施）		職員		
「十分達成できている」＋「おおむね達成できている」の割合[%]		R 6	R 5	R 4
1	生徒に対して服装容儀等の規則は厳守するよう常に適切な指導をしている。	79.5	82.0	82.1
2	様々な場面で時と場をわきまえた礼儀・挨拶の指導を行っている。	90.9	92.0	89.7
3	授業時には、チャイムとともに開始や終了の挨拶をしている。	88.4	88.0	97.4
4	生徒の学びやすい教室等の環境整備(机上、掲示物等)に努めている。	88.6	84.0	100
5	朝読書は、生徒とともに読書に勤しみ、一致して取り組む指導をしている。	75.0	76.0	84.6
6	HRや授業、部活動等を通じて社会のため貢献する意義を指導している。	88.6	88.0	94.9
7	学級の係や生徒会の仕事はきちんとするよう適切に指導している。	95.5	88.0	97.4
8	清掃は生徒と取り組み、自分たちの環境を整備する指導を行っている。	95.5	94.0	97.4
9	学習習慣の確立のためにClassi等を通じて個に応じた指導を行っている。	63.6	64.0	66.7
10	教科指導において、予習・復習・課題等の点検・指導を常に行っている。	86.4	84.0	89.7
11	生徒の学力向上につながる授業方法の工夫・改善を毎時間実践している。	81.8	93.4	94.8
12	シラバス(年間計画)に基づいた教科指導をしている。	86.4	84.0	97.4
13	教科会で各学年ごとの学力分析等を行い、対策を講じている。	65.9	68.0	76.9
14	主体的な進路選択できるよう、個に応じた進路学習や指導を行っている。	77.3	88.0	97.4
15	生徒が発言する場を設定し、適切な話し方や話す内容等の指導をしている。	72.7	80.0	79.5
16	様々な場面で、言葉遣いに対する正しい感覚を持たせるよう気をつけている。	88.6	86.0	94.9
17	人の話に耳を傾ける指導とともに、聞き方や聞く態度の指導に努めている。	90.9	92.0	97.4
18	教師として適切な話し方や言葉遣いで生徒に接するように整備に努めている。	97.7	94.0	94.7
19	通信等により保護者に学校の情報を発信するよう努めている。	56.8	67.3	76.9
20	担当業務では地域関係者に理解や協力を得られるよう努めている。	81.8	78.0	92.3
21	教育相談等においては生徒の個性や資質が生かされ、個々の生徒が主体的に判断・行動し自己を生かしていけるような対話を行っている。	93.2	88.0	100
22	生徒・保護者の理解や納得を得られるよう、信頼関係の構築に努めている。	90.7	96.0	100
23	特に配慮を要する生徒等へは、声かけをするなど見守り指導を行っている	95.5	94.0	100
24	学習指導、進路指導、生徒指導、保健指導等の研修に努め、常に信頼感のある教師になれるよう努めている。	93.2	96.0	100
【今回の傾向について】				
昨年度と比較して、半数に当たる12の項目で昨年度を上回る結果となり、特に21や23の教育相談や生徒への声かけに対して職員が意識して取り組んでいることがうかがえる。ただ、昨年度に課題としてあげられた5、9、13、19の項目はいずれも下回る結果となり、改善するための取組の効果が現れていない。9や19のようにICTの活用技術に関するものに関しては、継続的に職員研修を実施し、活用技術の向上を図る必要がある。また、5の朝読書は、職員全員が当初の目的を再確認し、共通理解を図っていききたい。13については、教科会で観点別評価や対外模試などの結果をもとに、その都度指導法を改善し、実践していくPDCAサイクルを作り上げていきたい。				